

排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

木質バイオマスボイラの新設プロジェクト

排出削減事業者名：株式会社モリチクリーニング

排出削減事業共同実施者名：株式会社F Tカーボン

その他関連事業者名：

1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	株式会社モリチククリーニング
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	ホテルリネンサプライ・病院寝具工場
住所	北海道亀田郡七飯町字峠下 70 番 14 号
排出削減事業共同実施者（J-クレジット保有予定者）	
排出削減事業 共同実施者名	株式会社F Tカーボン
その他関連事業者	
関連事業者名	

2 排出削減活動の概要

2.1 排出削減事業の名称

木質バイオマスボイラの新設プロジェクト

2.2 排出削減事業の目的

木質バイオマスボイラ 1 台を新設する。木質バイオマスを使用することによって、CO₂ 排出量を削減する。

2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

木質バイオマスはカーボンニュートラルが適用され、CO₂ を実質的に排出しないものとみなされるため、新設ボイラの燃料が A 重油を利用した場合に比べて、CO₂ 排出量を大幅に削減する。

2.4 J-クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

木質バイオマスの単位発熱量のモニタリング方法・根拠資料について、分析報告書から J-クレジット制度のデフォルト値（木質チップ、針葉樹、その他針葉樹又は不特定ないし複数の針葉樹）に変更する。

3 排出削減活動期間

3.1 プロジェクト開始日

2008年 12月 8日

3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2016年4月1日 ～ 2016年12月7日

4 温室効果ガス排出削減量

4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
001-A	ボイラーの新設

4.2 活動量

4.2.1 活動量・原単位

活動量は採用しない。

4.2.2 活動量の採用根拠

活動量は採用しない。

4.3 事業の範囲（バウンダリー）

バイオマスボイラー及びボイラーから蒸気の供給を受ける設備。

5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法に変更あ る場合、) 変更理由
$F_{\text{fuel,Pj}}$	木質バイオマス使用量	t	2,910.18	燃料供給会社の請求書	変更なし
$WCF_{\text{wood,Pj}}$	木質バイオマスの含水率	%	17.6772 (湿量基準)	含水率計による毎日の計測データの平均値	変更なし
$HV_{\text{fuel,Pj}}$	木質バイオマスの単位発熱量	GJ/dry-t	17 (絶乾ベース、高位発熱量)	J-クレジット制度のデフォルト値 (木質チップ、針葉樹、その他針葉樹又は不特定ないし複数の針葉樹)	分析報告書からデフォルト値に変更
ε_{Pj}	燃料転換後ボイラ効率	%	73.6166 (高位発熱量)	カタログ値	変更なし
ε_{BL}	ベースラインボイラ効率	%	90.2500 (高位発熱量)	カタログ値	変更なし
$CF_{\text{fuel,BL}}$	A 重油の単位発熱量あたりの CO2 排出係数	tCO2/G J	0.0708	J-クレジット制度のデフォルト値	変更なし

6 排出削減量の計算

6.1 事業実施後排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
			0.0 (t-CO2)
EM _{Pj}			0.0 (t-CO2)

6.2 ベースライン排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
2,910.18 (t)	17 (GJ/t)	0.0708 (tCO2/GJ)	
17.6772 (%)			
73.6166 (%)			
90.2500 (%)			
EM _{BL}			2,352.1 (t-CO2)

6.3 リークージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
			0
LE			0

6.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	EM _{BL}	2,352.1
事業実施後排出量 (7.1)	EM _{Pj}	0
リークージ排出量 (7.3)	LE	0
温室効果ガス排出削減量	ER	2,352

7 省エネルギー量

本事業は省エネルギー事業ではない。

8 再生可能エネルギー利用量

	モニタリング期間 (2016年4月1日 ~ 2016年12月7日)			
		エネルギー使用量	熱量換算 (GJ)	原油換算(kl)
	単位	(実績)	(実績)	(実績)
バイオマス熱利用量	GJ	40,728	40,728	1,050.8